

STUDIO TIAMAT PRESENTS



いつでも  
**凍空の**  
**夏聖女**  
サマーレディ

“Fate/GrandOrder”  
Respect Book  
For Adult Only

無断閲覧・転載禁止





ジャンヌ…  
どうしてだ…

どうして  
こんな事に…



後悔は…  
ありません…  
マスター…

これは…  
この戦いに臨んだ時に  
決定づけられた必然…

私は…相応の  
覚悟を持って  
ここに立った  
のですから…



君にはまだ  
やるべき事が  
あるはずだろっ!?



けど…出来れば  
最後までご一緒  
したかった…

駄目だっ  
目を閉じるな  
ジャンヌっ!!





君が倒れたら  
誰が……っ

誰が君の原稿を  
描き上げるんだっ  
ジヤムウウウウっ!?

カルデア「サバフェス」運営委員会より告知  
サークル名: いでぞら サマーレディ 凍空の夏聖女 様  
この度、冬季サーヴァント・フェスティバルへの  
参加サークルとしての当選をご報告致します



…まったく

真冬のサバフェスに  
水着仕様で挑むとか  
馬鹿なの？死にたいの？

ああゴメン  
確か自分から火刑台に  
上がった**馬鹿**だった  
わねアンタ？

うう…  
カア  
カア  
カア  
カア

確かに真逆の  
季節属性は致命的な  
弱点になりかねない  
よね…？

どうしてわざわざ  
そんな格好を？

カア  
カア

勿論これが  
サバフェスにおける  
私の正式な  
戦装束だからです♡

カア  
カア

マスターには  
感謝して  
おります…

カルデアの活動の  
終了を前に再び  
サバフェスを催す為に  
尽力して下さいました事…

何より最後に彼女と  
サークルを組ませて  
くれた事に…

チ…ツ





二人の漫画が  
好きなだけだよ…

どうせなら  
いっぺんに  
楽しみたいくてね？

本作りに関しては  
二人が反目する  
理由は無いだろ？

ええ  
確かに♡

か…勘違い  
しないで頂戴っ



ルルハワでは  
私の我が儘に  
付き合ってもらって  
たから—

今回ばかりは  
顔を立ててあげる  
だけなんだから…



それよりアンタ  
そんな調子で本当に  
漫画描けるんで  
しょうねっ!?

言っとくけど  
私の前で体調を理由に  
原稿落とすなんて真似  
したらただじゃ  
おかないからねっ!?

は…はい  
対策は一応  
考えてます…



でなきや誰が  
こんな惚けた聖女  
なんかと組む  
もんですか…

っか  
そのムカつく  
微笑面やめろっ!!

（う）

（う）

（う）





それは心配  
いきりません  
マスター

実はその件で  
折り入って  
頼みたい事が  
あります…



ところで本当に  
俺は原稿作業に  
加わらなくて  
良いの？

マネージャー  
編集担当なんて  
ロビンほど上手く  
出来る自信無いんだ  
けどな…



?



?



よろしければ  
マスターには…

アッ！！

そっちの方で  
体力を使って  
欲しいというか…



アッ！！



ところでジャンヌは  
どういう漫画を描く  
つもりなの？

はいっ  
お姉ちゃん系  
ヒロインによる  
ラブコメをと…

オルタは？

…一応私も  
ラブコメよ…  
文句ある？



いつけない！  
いつの間にか  
寝落ちてた！

睡眠という概念の  
ないサーヴァントでも  
この作業に限っては  
勝手が変わるのよね…

作業は—  
今のところ順調  
ではあるけど…

決め手になる  
構図がなかなか  
浮かばない  
のよね…

あまり時間は  
かけられないし  
どうしたもの  
か…

あ…

ほん…

あ…

ほん…

!!??





なに やってんのよ アンタらああ!?

ホホ

あっオルタ ゆっくり休め ましたか?

休めましたか? じゃあねえ わよっ!!

なんで作業中に 乳繰り合ってる 訳っ!?



これは 魔力供給 ですよ?

こうする事で 常時弱ってく霊基を 補強しながら作業に 専念するんです...

えと... 対策って ソレ...?

つーか頑なに その霊基は 替えないんだ...っ

ジ...ジヤンヌ... 俺... そろそろ...っ

良いですよ... マスター...♡ このまま... 好きな時に...

私の腔内で 達してください... ああ...っ♡













あ、私達の事は  
気になさらず  
どうぞ作業を  
進めて下さい♡

か  
あ  
つ  
!!

出  
来  
る

真面目に  
やりなさいよっ  
そんな事しながら  
まともに原稿描ける  
訳っ!?

一応……これが  
現在の進捗です……

嘘……っ

何でこんなに  
私より作業が  
進んでるの……?

魔力が伴えば  
あらゆる  
パフォーマンスを  
可能とするのが  
私達サーヴァント  
なのでしょ?

それにこうして  
マスターと行為に  
及ぶのは……

今回の  
お話作りにも  
必要なのです……

ほ……本当に  
やるの……  
ジャンヌ……?

ええ……  
勿論です……♡





は〜

れる

た〜

は〜

ん〜

ん〜

ま〜

ま〜

そう…  
私は  
お姉ちゃん…♡

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

ん〜

あ…あ…  
ジャン…

マスター  
弟君が大好きな…  
お姉ちゃん…  
なのです…♡

姉さん!?  
姉さんっ♡













…確かに  
そうかも  
知れませんが…  
でも今は  
これで良いの  
です…



その霊基を  
得てからの  
アンタ…

随分…節操が  
無くなった  
わね…??



…まともじゃ  
ないわ…??



これが最後かも  
知れませんが…



こうして  
マスターと  
触れ合えるのは



ですから私は  
決めたのです

その日までは  
自分に正直に  
なろうって

この霊基は  
その決意の  
顕れなのです♡



次の「新所長」  
という方が  
赴任した時—  
わたしたちは  
全員「座」に還される  
事になるのです…



霊

再



ジャンヌ…  
今度はどうして  
その姿に…？

実はヒロインが  
眼鏡っ娘なので♡



ちよつと  
待った…

そういえば  
さっき見た  
彼女の漫画って…

それとまだ  
お姉ちゃん  
ですよ♡

ん…♡



臨

基



姉弟同然に  
育った  
幼馴染み達が



突然の別れを機に  
互いの想いを  
確かめ合う物語…



疑似体験  
ですって…？  
とんでもないわ…

この聖女…  
創作に投影  
してるのね…



自分の思慕を…

キモチ

あ…

はあ…♡

フフ…♡  
また挿入いり  
ましたよ…♡

みち♡

みち♡

お姉ちゃんの  
膝奥まで…  
マスター  
弟君のが…♡





姉さん…っ

あん♡

あっあっ♡  
スゴいです…♡  
擦り上げてますっ♡

姉さん…っ

あっ

マスター  
弟君のが…  
私の膣肉に  
隙間無く…♡

んっ



んっ

あ…♡

もっと…  
姉さんを  
感じたいっ♡



あんむ♡

ん…♡  
んっんっ♡

れろっ



んっ

うん…  
気持ち良い…  
気持ち良いよ…♡

ん…♡  
お姉ちゃんの膣内  
気持ち良い  
ですか…？

あもっ









二人で  
盛り上げよう...

一回...

.....

マスター  
弟君っ♡

あー

姉さんっ♡

あー

あー



ムムム

私だっ

マスター...♡

マスター♡

マスター♡



大体ねえ...  
サバフエスは  
全年齢よ？

んっ

あむ

そこまで絡む  
描写なんて  
要らないじゃないっ



それなら  
私だって...

すす

んっ



もし…

わたしが  
この物語を先に  
進めるとしたらなら…

ツンデレ主人公系  
ラブコメ漫画

姉さんっ  
もう  
いくよ…っ

あっ  
あっ  
あっ

俺…また  
姉さんの膣内  
で  
イク…っ♡

は…はいっ  
来てください…  
マスター  
弟君っ♡

マスター  
弟君  
マッ  
マッ  
マッ

あっ  
あっ  
あっ







マネージャー  
管理担当

当然私にも  
ケアしてくれる  
のよね...?

.....ここは  
少し冷える  
みたい...









…あの聖女の  
胸に通す…

確かにこれなら  
インターバル  
休憩無しでいくらでも  
作業出来る…けど…



スゴい…子宮を  
通じて注がれる魔力が  
脳を覚醒させる…



ハッキリ言つて  
こんな状態で—

集中出来るか  
馬鹿っ!!



それよりも  
呆れた性欲よね  
マスター…

さっきまで  
あの聖女に散々  
ハメまくってた  
くせに…

そんなの…  
当然だろ…っ



…ごめんオルタ…  
ひよっとして作業  
やり辛い…?

は…  
はあっ!?

べ…別に  
そんな事  
ないから…っ



俺…ジャンヌと  
同じくらい  
オルタの事も好き  
だから…っ

はあ？



その水着姿も  
初めて  
見た時から…

俺…ずっと  
ドキドキして  
たんだよ…

な…なによ  
ソレ…？



そ…そんな事  
ここで…  
言われても…

あ…

あ…♡



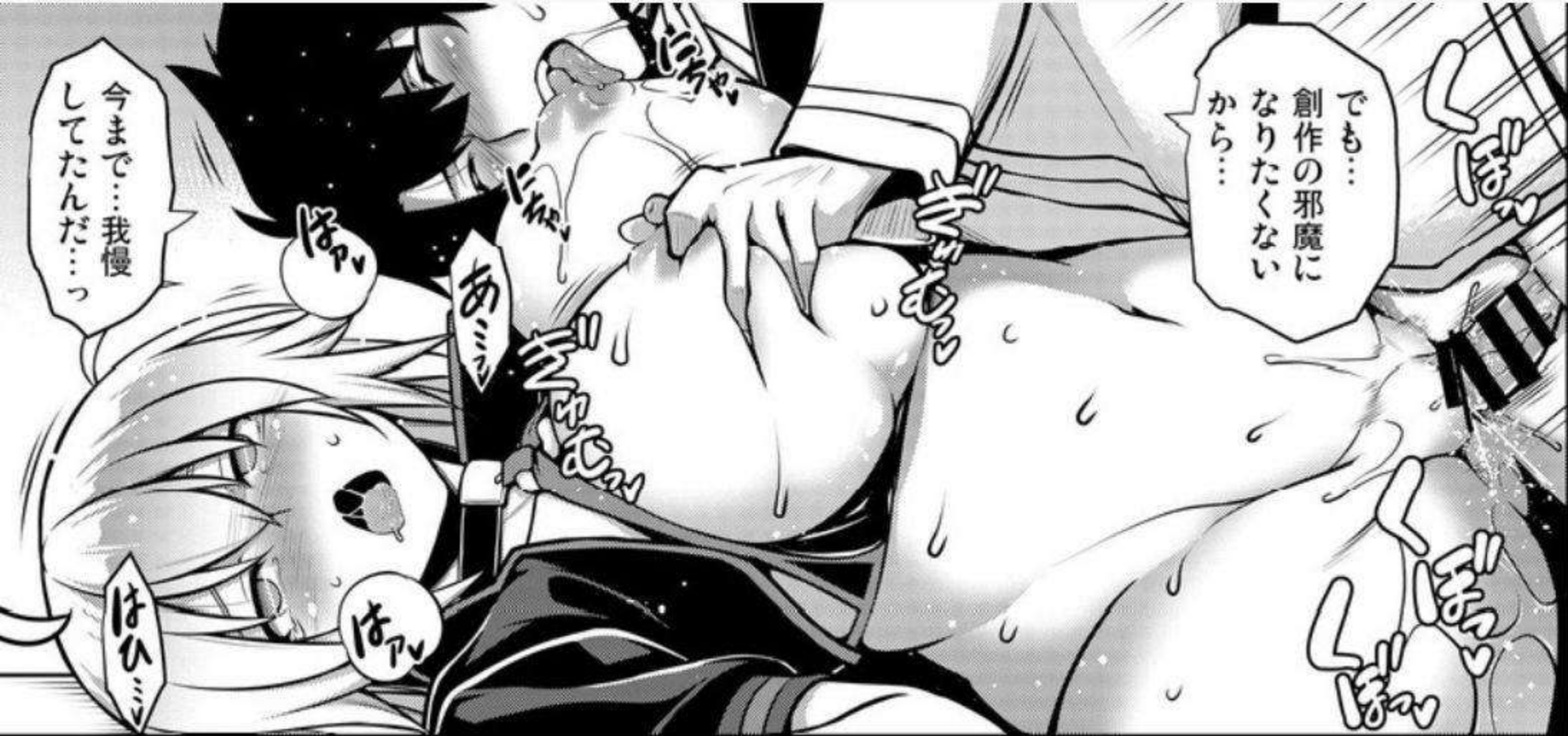
ルルハワで  
何週間も  
一緒に部屋で  
過ごしてて…

俺がどれだけ  
悶々としてたと  
思ってるんだっ

あ…

あ…





でも…  
創作の邪魔に  
なりたくない  
から…

今まで…我慢  
してたんだ…っ



ぜ…  
前言撤回…  
呆れた  
ヘタレ野郎だわ…  
アンタ…

オル  
むんうっ!?



私は…アンタの  
サーヴァント…  
なんだから…

つまらない  
遠慮なんて…  
してんじやない  
わよ…



アラアラ  
…♡



アンタが…日頃…  
無様に拝み倒して  
れば…私は…

いっだって…  
相手してあげた  
んだから…



ほ…本当？

当然でしょ…っ  
あの聖女おんななんか  
構うくらいなら…



素直に私を  
求めて  
きなさいよ…っ

ひよっと  
したら…  
これが…

最後の付き合いに  
なるかも知れない  
…んだから…



わかったよ  
オルタ…

これからは…  
遠慮無く  
抱くから…っ

夏から溜めてた  
俺の魔力…  
受け取って…っ

い…良いわ…  
寄越しなさい…っ♡

私の子宮…  
アンタので…  
満たしてっ♡







ああ…  
溢れてる…♡

マスターが  
私の為に注いで  
くれた魔力…♡

たまんない…♡

あ…  
今のせりふ…  
ネタに使えそう…♡





私  
思うんです

現実も創作も  
素直な気持ち  
が正道であり  
王道なんだと…

なに？そんな事  
私に説くつもり  
だったの？

つか  
見んなっ

いえいえ♡

ともかく  
作業が進んで  
なによりです♡

ところで  
オルタ…

ここで魔力供給  
お姉ちゃんと  
替わって  
くれませんか…？

嫌よっ  
せっかく筆が  
ノってきたん  
だからっ

でもそろそろ  
ジャンヌの  
体調が…

✖ 抜いたら  
燃やす ✖  
わよっ!!

わよっ!!

わよっ!!

わよっ!!

わよっ!!

わよっ!!

わよっ!!

わよっ!!

わよっ!!





凍空の  
夏聖女  
サマーレディ

発行元：STUDIO TIAMAT

発行日：2018/12/30

印刷所：共信印刷

サークル連絡先：TANABE

E-mail:tanabe@studiotiamat.sakura.ne.jp

URL:<http://studio-tiamat.sblo.jp/>

※無断閲覧・転載禁止